

# HULFT

CASE STUDY

HULFT-DataMagic

狭山市役所



**地方行政システムの“あるべき姿”を具現化  
HULFT-DataMagicによる福祉情報の一元化で  
業務効率を加速し、市民サービスの向上を実現**



## 狭山市役所

# 地方行政システムの“あるべき姿”を具現化 HULFT-DataMagicによる福祉情報の一元化で 業務効率を加速し、市民サービスの向上を実現

埼玉県の南西部に位置し、狭山茶の産地として知られる埼玉県狭山市。その行政を担う狭山市役所はHULFT-DataMagicを活用し、福祉部門の情報を連携・集約する仕組みを実現。現場の業務システムそのままに、部門の“壁”を越えた福祉情報の共有・検索・活用が可能になった。業務の効率化・適正化により、市民サービスの向上につながっている。この仕組みは人口減少や少子高齢化など、様々な課題を抱える全国の地方自治体の行政システムの“あるべき姿”を問うモデルケースでもある。今後はこれを発展させ、行政の総合窓口システムとの連携を目指す。



狭山市役所  
総合政策部  
広報課 課長

宮崎 昌美 氏



狭山市  
福祉子ども部  
福祉課  
地域福祉担当 主査

中原 聡 氏



狭山市議会事務局  
主査

平沢 剛志 氏

都心への通勤圏内にありながら、豊かな自然に恵まれた埼玉県狭山市。入間市、所沢市とともに狭山茶の産地として知られる。同市の行政を取り仕切る狭山市役所は、快適でうらおいのある住生活環境の提供に努め、様々な取り組みを展開している。

## 縦割りの福祉行政を脱却し プッシュ型の情報活用を目指す

その取り組みの中で重点課題の1つが、公平かつ充実した福祉サービスの提供である。「急速に進む少子高齢化、生活・労働環境や家族形態の変化など、福祉を取り巻く環境は年々多様化しています。災害発生時にサポートが必要な障害者や高齢者どう向き合い、サポートしていくかも大きな課題です」と狭山市役所の宮崎昌美氏は語る。宮崎氏は福祉部門在籍中に、後述する新システムのグランドデザインを描いた中心メンバーの一人だ。

福祉を取り巻く環境変化に対応するためには、組織や制度の枠組みを超えた支援体制が不可欠となる。「人を中心に、組織が手を携える体制を整備することが重要なのです」と宮崎氏は訴える。

しかし、一口に福祉といっても、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険など専門性が高く、業務領域は多岐にわたる。「業務システムは部門ごとに最適化された縦割りの仕組み。全部で24ものシステムを担当部署で使い分けています」と狭山市 福祉子ども部の中原聡氏は話す。

その結果、様々な課題が顕在化していた。「例えば、他部署の情報を知りたい場合は、その部署に問合せ調べてもらうやり方が慣例化。作業に時間がかかり、窓口を訪れた市民を待たせてしまったり、ほかにも受けられる給付やサービスの情報をその場で把握できず、対応が後手に回ってしまうこともありました」と狭山市議会事務局の平沢剛志氏は当時を振り返る。平沢氏は福祉部門在籍中、宮崎氏とともに新システムの実現に携わった。

課題解決に向け、目指したのは「プッシュ型の情報活用」。該当する情報を一括で掌握できる仕組みだ。その実現には「福祉の総合システム化」が必要と

## User Profile

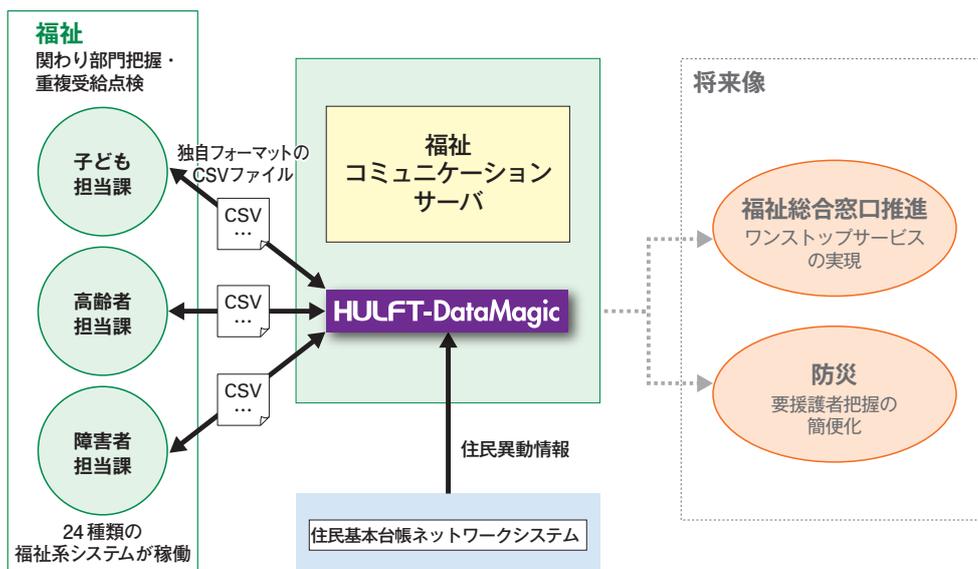
## 狭山市役所



所在地 埼玉県狭山市入間川1丁目23番5号

人口 約15万4000人

概要 1960年代以降、東京郊外のベッドタウンとして発展。公式モバイルサイトの取り組みが平成18年度地域づくり総務大臣表彰を受賞したほか、公式ツイッターによる大雨・洪水・地震などの気象警報即時配信サービスを提供するなど、ITの活用に積極的な自治体として知られる。関東三大七夕祭りの一つ「狭山市入間川七夕まつり」は、毎年県内外からの多くの観光客が訪れ、賑わいを見せる。



狭山市役所の福祉CS活用イメージ  
福祉部門の各業務システムのデータは、HULFT-DataMagicを活用した福祉CSによりデータ変換され、一元的に集約される。識別番号を入力すれば、各業務システムのデータを横断的に共有・検索・活用することができる。

なる。「しかし、システムを一から作ると、膨大な手間とコストがかかります。既存システムの連携を図るにも、カスタマイズが必要。いずれにしても、高いハードルが待ち構えていたのです」(宮崎氏)。

### 既存システムに手を加えず 情報を連携・集約できる点を評価

頭を悩ませている時、地元のシステムベンダーである日本情報システム(以下、NJS)から提案されたのが、セゾン情報システムズの「HULFT-DataMagic」を使ったシステム連携である。

24ある福祉系システムはそれぞれ現場の業務と密接に関連している。「大掛かりな総合システムに入れ替えたところで、それが現場に合うとは限らない。システム連携を目的に、使い慣れたシステムを捨ててまで、無理やり総合システムに刷新するのは得策ではない」と語る中原氏。

その点、HULFT-DataMagicは様々な形式のデータの加工・変換を自動化するツール。異なるシステムのデータを統一的なフォーマットでデータベースに集約することで、部門間の情報連携を可能にし、福祉の総合システム化を容易に実現できる。「既存システムに手を加える必要がないので、開発やテストの

工数を劇的に削減。お客様のコスト負担を50%以上低減し、なおかつ短期間で稼働を開始できます」とNJSの大阿久満氏は評価する。

自治体では総合窓口化の流れが顕著だ。しかし、多くの総合窓口システムは福祉部門が蚊帳の外。制度も仕組みも多岐にわたり、手続きも煩雑なことがその理由だ。福祉の総合システム化は、狭山市だけに限った課題ではない。

新たな仕組みづくりを進める宮崎氏の考えは、今回の提案を狭山市だけのものにせず、同様の課題を抱える全国の自治体でも使えるものにする。それが地方行政を改革する起爆剤の1つにな

るとの思いがあるからだ。

NJSはHULFT-DataMagicを使った情報連携の仕組み、情報を集約するデータベースなどを構築し「福祉コミュニケーションサーバ(以下、福祉CS)」としてソリューション化。住基システムとの連携により、住民一人ひとりに付与した固有の識別番号をキーに、最新の福祉情報を一元的に把握できるようにした。

### 待ち時間を短縮し情報提供力が向上 福祉を切り口に幅広い活用を図る

福祉CSの活用による最大のメリットは、システムの違いを意識しない情報共有が可能になったことだ。「例えば、こど



もを対象にした受給状況を確認する場合、従来は児童手当、こども医療、児童扶養手当、ひとり親医療など複数の業務システムにそれぞれログインする必要がありました。しかし、今では所管の情報を一回のログインで網羅的に把握できます」(中原氏)。相談に訪れた市民の照会作業を効率化し、待ち時間を大幅に短縮できるのだ。「以前より短時間で受けられる給付やサービスなどを幅広く紹介できます」(平沢氏)。

適正な福祉行政の徹底を図ることで、将来的には行政サービス全体のコストの低減も期待できる。「情報は共有・検索・活用できてこそ、本当の情報。部門間の連携が加速すれば、福祉の情報は“宝の山”になります」と宮崎氏は期待を込める。

この仕組みがあれば、部門の担当者が不在でも必要な情報を把握し、市民の要望に応えられる。「災害時に被災状況に応じてどのようなサポートを受けられるか迅速に提示することも可能になります。情報を民生委員と共有することで、障害者や高齢者を地域で見守る体制も強化できます」(中原氏)。

開発を担当したNJSにもメリットが大きい。「汎用的な福祉CSとして提供することで、他の自治体への横展開が可能になり、事業の広がりが期待できます」(大阿久氏)。同様の課題を抱える自治体から、既に多数の引き合いがあるといる。

HULFT-DataMagicを使ったシステム連携にしたことで、いくつものメリットが生まれている。「本来ならば開発当初に、出力項目の順番や『S-JIS』『Unicode』などの文字コードといったシステム連携に必要な細かな仕様は入念に決めるべきことだと思います。こちらの仕様をお客様側のシステムに合わせる場合でも、逆にお客様側のシステムを合わせていただく場合でも、いずれにしても作業が発生します。つまり仕様の事前決定は、設計、実装、テストに至るすべての工数になってしまいます。しかし、HULFT-DataMagicならば、項目の並び替えや、文字型の変換に至るまで、GUIで管理できて効率的に処理できるので、プログラム実装とテストにかかわる費用が最適化できます。さらに、設計書を逆生成することも容易です。

お客様のシステムが多いほどHULFT-DataMagicを活用するコストメリットがあると考えています」と、NJSの大阿久氏は力強く語る。

福祉CSは狭山市役所の要望を取り入れて実現したもの。この取り組みは市政の中で高く評価され、狭山市の「職員改善提案」で金賞を受賞した。「しかし、現段階では理想の姿の30%にすぎない」と言う宮崎氏。次に目指すのが、狭山市が独自に進める「要援護者対策」への活用だ。障害等級、要介護度、健康状態などから、サポートが必要な障害者や高齢者の“援護度”をモデル化する。これをもとに、組織が手を携えて迅速かつ適正なサポートを提供するのが狙いだ。その先には行政の総合窓口システムとの連携も見据える。

HULFT-DataMagicを活用した福祉CSにより、福祉分野のシームレスな情報連携を実現した狭山市役所。この仕組みをベースに福祉行政の効率化・適正化を進めるとともに、取り組みの輪を狭山市全体に広げ、市民サービスのさらなる向上を目指す考えだ。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

**SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.** [お問合せ先]  
**株式会社 セゾン情報システムズ**  
HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620  
※利用時間 9:15～17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

<b>HULFT事業部</b> 〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 21F TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830	<b>西日本営業部</b> 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16 肥後橋MIDビル4F TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152
<b>名古屋営業所</b> 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル 21F TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592	<b>九州サテライトオフィス</b> 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27 九勤博多駅前ビル TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

**HULFT Pte.Ltd.**  
80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #35-07  
Singapore 048624  
TEL +65 6248 4625 FAX +65 6248 4501

**URL <http://www.hulft.com/> e-mail [hulft@saison.co.jp](mailto:hulft@saison.co.jp)**